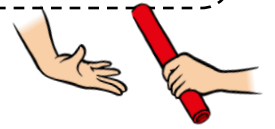


## 体育祭2020 『燃える闘志はバトンとともに つないだ思いで頂上を目指せ』



9月4日（金）体育祭が行われました。はじめは雨がなかなか止みませんでした。途中からは太陽も見えました。コロナ禍や熱中症に備えての縮小開催でしたが、短い時間の中で、一人ひとりが全力で取り組んだ体育祭でした。また、練習や準備期間が例年よりも短かったにも関わらず、各団のパワフルで息の合った応援合戦や素晴らしい団旗など、3年生のパワーを見ることができました。それぞれの思いが競技を通してつながり、各団とも頂上を目指して切磋琢磨した、充実した体育祭になりました。

<結果>

### 総合優勝 青団（3年4組）

準優勝 緑団（3年1組） 3位 黄団（3年2組） 4位 赤団（3年3組）

### 応援合戦最優秀賞 緑団（3年1組） 黄団（3年2組）

優秀賞 青団（3年4組） 努力賞 赤団（3年3組）

### 団旗最優秀賞 緑団（3年1組）

優秀賞 赤団（3年3組） 努力賞 黄団（3年2組） 青団（3年4組）

<審査委員の先生方から>

#### 応援合戦について

- ・4つの団とも和やかで協力する姿が見られて素晴らしかった。
- ・青団男子の笑顔でのダンスや声かけがよかった。
- ・黄団ダンスのステップが上手だった。
- ・移動がすみやか、かつ次の団への配慮があってよかった。

#### 団旗について

- ・どの団も素晴らしく、順位をつけるのが難しかった。
- ・どの団も団の色に合わせたデザインになっていてよかった。
- ・どの団も、勢いとアイデアがあった。四字熟語に輪中の生徒たちが、文武両道で学校生活を送っていることが見える団旗だった。



## 各団団長より

緑団全員が笑顔で楽しそうに体育祭をしていた印象が強いです。みんな練習の時に真面目に頑張っていて、自分もそれで頑張ることができました。1、2年生も真剣かつ笑顔でした。体育祭のことは絶対に忘れません。1、2、3年生のみんな、本当にありがとうございました。本当に楽しかったです。団長をしてよかったと思います。

緑団団長 富水南斗

今年の体育祭は本当に盛り上がり、1～3年生までが、一致団結して、すごくよかったと思います。

1年生は初めての体育祭だったけど、すごく盛り上がっていてよかったです。2年生も去年よりも盛り上げていたように思いました。3年生は最後の体育祭ということで、全クラスが頑張っていました。みんな笑顔で終わることができたのでよかったと思います。1、2、3年生のみなさん、ありがとうございました。

黄団団長 松村歩太

自分たち赤団は最下位でした。結果は、最下位でしたが、1、2年生が頑張ってくれたおかげで、3年生にとって最高の楽しい体育祭になりました。

3年生は、今年は楽しみにしていた行事がいろいろなくなってしまったけど、最高の体育祭にできてよかったです。いろいろとあって大丈夫かなと思ったこともあったけれど、うまくいってよかったです。赤団の団長になれてよかったと思います。

赤団団長 橋本大雅

優勝できたのは、3年だけではなく、1、2年生のがんばりがあってのことなので、感謝したいです。

応援合戦のダンスは最初、誰もやる気がなく始まりましたが、副団長ががんばってくれて、最後はみんなが楽しんで踊れました。体育祭を通して、協力することがとても大切だと思いました。

今年の体育祭は、みんな楽しめて、いい思い出になったと思います。青団のみなさんありがとうございました。

青団団長 北出涼介

## 9月9日(水)防災講演会

金沢大学の青木先生に来ていただき、防災についてお話をさせていただきました。様々な自然災害における、輪島市の抱えるリスクについて説明を聞きました。毎年のように、どこかで1000年に一度クラスの大雨が降っています。また、台風は年を追うごとに巨大になり、威力を増しています。この機会に、もう一度家庭でも自然災害について、どう向き合っていくか、そして、それが起こった時にどのように行動するかを考えてみてはどうでしょうか。

講演会を聞いて(生徒の感想より)



自然災害において、なぜ想定されていたにもかかわらず、被害が大きくなってしまったのか。それは、一人ひとりの自然災害への認識が甘く、自分の地域についての情報不足が主な原因だと思いました。「このくらいなら避難しなくても大丈夫」「ここなら安全」など、勧告が出ていても、そのように考える人がいます。

自分の住んでいる地域では、土砂崩れや洪水が起こりやすい、落石の恐れがあるなど、事前にハザードマップなどで確認すること、自治体からの指示に従うこと、もしものために備えておくことが大切だと改めて思いました。

自然災害が想定範囲内であったにもかかわらず、死者が出てしまったことは本当にもったいないと思います。人はいつ死ぬかわかりません。だからこそ、全員がそのことを日々の生活でも意識していかななくてはならないということを改めて感じました。

この間の台風も「普通でしょ」と日本中の人が思うくらいになっているというのを聞きました。自然災害への備え方を頭に入れておいて、それを実行することが大切だとわかりました。小学生の頃は「自助」、中学生になると「共助」が必要になります。大切な人が自然災害で亡くなるのは、本当に嫌なので、私が助けるんだという考えを常に持って生活していこうと思いました。